



2018年5月吉日

ライオンズクラブ国際協会
地区ガバナー
複合地区 GMT コーディネーター
地区 GMT コーディネーター
クラブ会長

各位

GMT 会則地域副リーダー 鈴木誓男
GMT エリアリーダー 丸山正芳
GMT エリアリーダー 中村泰久

薫風の候、ますます御健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、皆様におかれましては、地区ガバナーをはじめ複合地区・地区 GMT コーディネーター、クラブ会長としての任期も残すところ 2 ヶ月なり、ライオニズムの高揚にますますご尽力いただいている事と存じます。

ライオンズ創立 100 周年を迎えた前年度、全世界のライオンズメンバーは念願の 140 万人を達成しました(今年度 4 月末 1,455,918 人)。会則地域別の会員数は、アメリカを中心とした第 I 会則地域が地域別では第 3 位となり(316,233 人)、OSEAL (第 V 会則地域)が 2 位(335,614 人)、現在インドを中心とする ISAAME (第 VI 会則地域)が第 1 位(368,811 人)となっています。OSEAL 内での分析では、韓国 82,166 人(純増 4,050 人)、中国 50,373 人(純増 1,418 人)、となっています。

これらの増加は、国際会長や次期国際会長が若手会員や家族及び女性の会員増強に力を入れている事に、忠実に協力している証であると考えられます。

一方、日本は 4 月末 118,585 人(純増 1,720 人)で、家族及び女性会員は増加しているものの、世帯主会員は残念ながら伸びが鈍化しています。

これは家族会員パイロットプログラムが 3 年で打ち切られてしまったと誤認しているクラブが多くある事が、起因していると考えられます。

また、クラブメンバーの老齢化が進んでいる事も事実ですが、今こそ次なる世代に向かい、新しいメンバーを集い、ライオンズクラブの OSEAL のリーダーが日本ライオンズであることを証明する最高の好機であります。会員増強を益々推し進める為、地区ガバナーをはじめクラブ会長、幹事、会計の三役が率先して自ら家族会員の増強に一役買って頂きたく強く要請致します。一人の家族会員(二人目以降)は 21.5 ドル、年間約 2500 円で会員になる事が可能です。

幸いにも、1 月には念願の OSEAL 事務所が国際本部より独立して、東京に開設されました。

今や日本ライオンズが世界をリードする事は夢ではなくなってきました。

つきましては、ご理解の上、会員増強に積極果敢に取り組み、地区目標達成に向かい必ず実行して頂きます様、宜しくお願い申し上げます。 以上